



令和4年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年9月30日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <https://www.okaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 健広
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 中島 孝次 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 令和3年10月15日 配当支払開始予定日 令和3年10月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年2月期第2四半期の連結業績(令和3年3月1日~令和3年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年2月期第2四半期	458,397	25.7	10,639	116.5	12,922	72.7	8,819	78.0
3年2月期第2四半期	364,663	△17.9	4,914	△48.5	7,481	△38.1	4,954	△42.0

(注) 包括利益 4年2月期第2四半期 19,197百万円(836.5%) 3年2月期第2四半期 2,050百万円(77.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
4年2月期第2四半期	円 銭 916.27	円 銭 —
3年2月期第2四半期	514.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
4年2月期第2四半期	百万円 546,008	百万円 259,978	% 45.7
3年2月期	497,220	242,041	46.6

(参考) 自己資本 4年2月期第2四半期 249,524百万円 3年2月期 231,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
3年2月期	円 銭 —	円 銭 110.00	円 銭 —	円 銭 115.00	円 銭 225.00
4年2月期	—	115.00			
4年2月期(予想)			—	115.00	230.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年2月期の連結業績予想(令和3年3月1日~令和4年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	900,000	18.4	19,000	39.9	23,000	25.7	15,000	20.7	1,558.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年2月期2Q	9,720,000株	3年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	4年2月期2Q	94,325株	3年2月期	94,305株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4年2月期2Q	9,625,688株	3年2月期2Q	9,625,890株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考資料	9
(1) 売上高のセグメント別内訳	9
(2) 取引形態別売上高内訳	9
(3) 人員の推移	9
(4) 設備投資額並びに減価償却費	9
(5) その他補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大や半導体供給不足等の影響はありましたが、米国と中国を中心に景気回復が進みました。日本経済は、個人消費は伸び悩みましたが、製造業の生産活動は回復傾向が続きました。

このような環境において、当第2四半期連結累計期間における売上高は、4,583億97百万円で前年同期比25.7%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が313億83百万円（前年同期比29.9%増）、営業利益が106億39百万円（前年同期比116.5%増）、経常利益が129億22百万円（前年同期比72.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は88億19百万円（前年同期比78.0%増）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、製造業向けを中心に増加しました。

特殊鋼部門は、自動車・産機・工作機械等の生産が回復し、国内外で増加しました。

海外は、鋼材価格の上昇に加え、生産活動の回復に伴い、米国・中国・アジア向けが増加しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、2,027億24百万円（前年同期比35.3%増）となりました。

(情報・電機)

非鉄金属部門は、銅・アルミ価格の上昇に加え、好調な家電関連に支えられた電子部品用材料及び車載部品用材料が増加しました。

エレクトロニクス部門は、パソコン向けを中心に半導体供給不足の影響はありましたが、車載部品、FA及び医療機器関連が増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、987億1百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

(産業資材)

化成品部門は、原材料価格の上昇に加え、国内外での自動車関連及び国内の住設向けが増加しました。

メカトロ部門は、航空機向け部材及び自動車関連の設備は減少しましたが、車載部品・工具類が増加しました。

産業資材セグメントの売上高は、1,275億71百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

(生活産業)

配管建設部門は、エネルギー関連は減少しましたが、分譲マンションの販売及び住宅機器向け部材が増加しました。

食品部門は、鶏肉の輸入取引は減少しましたが、水産物の輸入取引が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、293億99百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,460億8百万円となり、売上債権やたな卸資産の増加及び株式相場の上昇に伴う投資有価証券評価額の増加などにより前連結会計年度末に比べて487億87百万円増加しました。

負債は2,860億30百万円となり、借入金の増加などにより前連結会計年度末に比べて308億50百万円増加しました。

純資産は2,599億78百万円となり、その他有価証券評価差額金の増加や利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて179億37百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績は期初予想を上回るペースで推移しており、令和3年3月31日公表の連結業績予想を修正いたしました。併せて個別業績予想も下記の通り変更しております。

令和4年2月期の個別業績予想（令和3年3月1日～令和4年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	620,000	19.9	10,000	38.7	16,000	26.8	12,000	28.2	1,245.71

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,794	15,923
受取手形及び売掛金	168,865	172,804
電子記録債権	38,519	44,101
商品及び製品	50,701	62,174
仕掛品	5,321	7,051
原材料及び貯蔵品	1,590	1,853
その他	10,967	13,035
貸倒引当金	△825	△963
流動資産合計	290,935	315,982
固定資産		
有形固定資産	44,308	52,427
無形固定資産	2,288	2,144
投資その他の資産		
投資有価証券	133,856	149,372
その他	26,092	26,344
貸倒引当金	△261	△263
投資その他の資産合計	159,687	175,453
固定資産合計	206,284	230,026
資産合計	497,220	546,008

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,618	98,410
電子記録債務	22,721	21,752
短期借入金	63,775	90,536
未払法人税等	2,266	3,337
賞与引当金	1,317	1,407
その他	11,518	14,203
流動負債合計	198,217	229,648
固定負債		
長期借入金	18,842	13,955
繰延税金負債	31,585	35,915
役員退職慰労引当金	979	797
退職給付に係る負債	2,351	2,360
その他	3,203	3,352
固定負債合計	56,962	56,381
負債合計	255,179	286,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	152,860	160,572
自己株式	△468	△469
株主資本合計	169,318	177,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,304	69,568
繰延ヘッジ損益	21	23
為替換算調整勘定	△36	41
退職給付に係る調整累計額	3,186	2,860
その他の包括利益累計額合計	62,475	72,494
非支配株主持分	10,247	10,453
純資産合計	242,041	259,978
負債純資産合計	497,220	546,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年8月31日)
売上高	364,663	458,397
売上原価	340,505	427,014
売上総利益	24,158	31,383
販売費及び一般管理費	19,243	20,743
営業利益	4,914	10,639
営業外収益		
受取利息	616	650
受取配当金	1,807	1,853
持分法による投資利益	72	326
その他	953	531
営業外収益合計	3,450	3,361
営業外費用		
支払利息	684	652
手形売却損	8	5
為替差損	—	273
その他	191	147
営業外費用合計	883	1,078
経常利益	7,481	12,922
特別利益		
固定資産売却益	106	6
投資有価証券売却益	6	60
特別利益合計	112	67
特別損失		
固定資産処分損	0	2
減損損失	—	7
投資有価証券売却損	2	5
投資有価証券評価損	55	1
操業休止関連費用	176	—
特別損失合計	235	16
税金等調整前四半期純利益	7,358	12,972
法人税、住民税及び事業税	2,262	3,902
法人税等調整額	92	△104
法人税等合計	2,355	3,798
四半期純利益	5,003	9,174
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	354
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,954	8,819

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年8月31日)
四半期純利益	5,003	9,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,582	10,277
繰延ヘッジ損益	△100	2
為替換算調整勘定	△691	△122
退職給付に係る調整額	△280	△328
持分法適用会社に対する持分相当額	△297	195
その他の包括利益合計	△2,953	10,023
四半期包括利益	2,050	19,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,044	18,839
非支配株主に係る四半期包括利益	5	358

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 令和2年3月1日 至 令和2年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	149,785	75,278	113,097	26,502	364,663	—	364,663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	302	1,428	186	701	2,619	△2,619	—
計	150,087	76,707	113,284	27,204	367,283	△2,619	364,663
セグメント利益	774	997	1,596	1,018	4,386	527	4,914

(注)1. セグメント利益の調整額527百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 令和3年3月1日 至 令和3年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	202,724	98,701	127,571	29,399	458,397	—	458,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	452	1,595	497	709	3,254	△3,254	—
計	203,177	100,297	128,068	30,108	461,651	△3,254	458,397
セグメント利益	3,151	2,085	3,133	1,618	9,989	650	10,639

(注)1. セグメント利益の調整額650百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 参考資料

令和4年2月期 第2四半期決算関係参考資料

(1) 売上高のセグメント別内訳

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半期累計		当第2四半期累計		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄 鋼	149,785	41.1%	202,724	44.2%	52,939	35.3%
情報・電機	75,278	20.6%	98,701	21.6%	23,423	31.1%
産業資材	113,097	31.0%	127,571	27.8%	14,473	12.8%
生活産業	26,502	7.3%	29,399	6.4%	2,896	10.9%
合計	364,663	100.0%	458,397	100.0%	93,733	25.7%

(2) 取引形態別売上高内訳

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半期累計		当第2四半期累計		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内取引	250,412	68.7%	308,425	67.3%	58,013	23.2%
海外取引	114,251	31.3%	149,972	32.7%	35,720	31.3%
合計	364,663	100.0%	458,397	100.0%	93,733	25.7%

(3) 人員の推移

【連結】

(単位：千円、単位未満切捨て)

	前第2四半期	当第2四半期	増減
期末人員	5,174名	5,204名	30名
従業員一人当たり 売上高	70,480	88,085	17,605
従業員一人当たり 当期利益	957	1,694	737

(4) 設備投資額並びに減価償却費

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績	通期予想
設備投資額	9,805	13,710
	〈主な内容〉	〈主な内容〉
	物流倉庫 増改築等 63	物流倉庫 増改築等 1,020
	賃貸用資産・設備 283	賃貸用資産 設備 690
	事務所 設備・土地等 8,051	事務所 設備・土地等 8,070
	工場設備 (海外) 466	工場設備 (海外) 910
	工場設備 (国内) 437	工場設備 (国内) 1,220
	金型 162	金型 580
	システム関連 172	システム関連 730
	車両運搬具 33	車両運搬具 100
	その他 138	その他 390
減価償却費	1,864	3,690

(5) その他補足資料

◇◇◇株主優待のお知らせ◇◇◇

【一般株主向け優待】

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
愛知県産米	200株以上	8月末	10月下旬
山の幻ミネアサヒ(※1) 5kg	100株以上	2月末	4月下旬

※1 令和2年産米の食味ランキングにて、最高位「特A」を愛知県産米で初めて取得しました。

【長期保有株主向け優待】(※2)

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
図書カード 1,000円相当	100株以上	8月末	10月下旬
図書カード 2,000円相当	100株以上	2月末	4月下旬

※2 一般株主向け優待に加え、半期毎(8月末及び2月末)に発行される最終株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件として贈呈。発送は通常の株主優待とは別送となります。

◇◇◇当第2四半期累計期間のトピックス◇◇◇

当第2四半期累計期間に、新たに展開した事業及び主な出来事をご紹介します。()内は公表年月

◎ 健康経営優良法人 2021 認定(令和3年3月)

当社は、3月に「健康経営優良法人 2021(大規模法人部門)」に認定されました。従来から実施してきた、従業員の健康維持・増進に向けた活動が評価されたものです。併せて、当社のグループ会社7社が「健康経営優良法人 2021(中小規模法人部門)」に認定されました。

◎ 西関東営業所開設(令和3年2月)

当社は、西関東エリアにおける自動車・医療・産業装置分野等のビジネス拡大のため、4月に西関東営業所を開設しました。

◎ チャリティーコンサート開催(令和3年8月)

今回で9回目となります「OKAYA チャリティーコンサート 2021 ～感謝の夕べ～」を新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年同様、無観客にて7月に開催し、その模様をテレビ放映及びインターネット配信しました。なお、地域の社会福祉向上のため、当社から 200 万円を社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付しました。

◎ 義援金寄付(令和3年8月)

令和3年7月伊豆山土砂災害による被災者に対する義援金として、国内グループ会社とともに 30 万円を社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付しました。

◎ 「JR 春日井駅南東地区 第一種市街地再開発事業」竣工(令和3年8月)

当社が平成 29 年2月より参画、事業協力を行ってきた「JR 春日井駅南東地区 第一種市街地再開発事業」が8月に竣工しました。本事業は、都市機能が集約されたコンパクトシティを形成し、駅周辺の活性化に繋がる複合再開発事業です。

以上